

健康 コラム

新型コロナワクチンについて ～あなたとあなたの 大切な人を守るために～



秋田厚生医療センター
感染管理認定看護師 主任 佐藤 真理子

はじめに

日本中がコロナ禍に見舞われるという事態に至って、1年以上が経過しました。

2021年5月上旬現在も、全国的に新型コロナウイルス感染が猛威を振るっており、秋田県においても変異株による感染が確認され、秋田市においては警戒レベルが3から4に引き上げられるなど、今まさに大きな第4波の渦中にあります。

そんな中、2021年2月中旬から新型コロナウイルスワクチン接種が日本国内でも開始されました。4月20日時点で、日本国内の累計71万人が2回のワクチン接種を完了しました。これは、ワクチン接種が必要な国民のうちのわずか0.6%にしかなりません。現在は、優先順位が高い方から順次接種しており、16歳以上の全国民に行き渡るのはまだ先の話かもしれません。期待が高まる一方、皆さん初めて受けるワクチンで、本当に大丈夫なのかと心配されている方も多いかと思えます。そこで、これまでの研究で分かっている事を、少しお話しさせていただきます。

新型コロナワクチンとは……？

現在、日本で使用されているファイザー社のワクチンはメッセンジャーRNA(mRNA)ワクチンです。新型コロナウイルスのスパイクタンパク質(ウイルスがヒトの細胞へ侵

入するために必要なタンパク質)の設計図となるmRNAを脂質の膜に包んだ製剤になります。

本剤を接種し、mRNAがヒトの細胞内に取り込まれると、このmRNAを基に細胞内でウイルスのスパイクタンパク質が産生され、スパイクタンパク質に対する中和抗体産生及び細胞性免疫応答が誘導されることで、新型コロナウイルス感染症の予防ができると考えられています。

新型コロナワクチンの効果

国内で承認されているファイザー社のワクチンでは、ワクチンを受けた人が受けていない人よりも、新型コロナウイルス感染症を発症した人が少ないということが分かっています(発症予防効果は約95%と報告されています)。

臨床試験や接種が始まってから時間があまり経過していないことから、効果の持続期間については明らかになっていません。今後の情報が明らかになるのを待つ必要があります。

新型コロナウイルスは、まだまだ未知のことがあります。このウイルスの感染により、令和3年1月末までに6千人以上の方が亡くなり、3万人以上の方が入院されています。特効薬も開発中の段階です。こうした中で、多くの方がワクチン接種を受けていただくことにより、重症者

や死亡者を減らすだけでなく、医療機関の負担を減らすことも期待されます。

接種回数と接種間隔

1回目の接種後、通常、3週間の間隔で2回目の接種を受けます(接種後3週間を超えた場合は、できるだけ速やかに2回目の接種を受けましょう)。

1回目に接種した製薬会社のワクチンと必ず同じ会社のワクチンを2回目も接種します。

ワクチンの安全性と副反応

主な副反応は、頭痛、関節や筋肉の痛み、注射した部分の痛み、疲労、寒気、発熱等があります。まれに起こる重大な副反応として、ショックやアナフィラキシーがあります。

なお、本ワクチンは、新しい種類のワクチンのため、これまでに明らかになつていない症状が出る可能性があります。接種後に気になる症状を認めた場合は、接種医あるいはかかりつけ医に相談しましょう。

様々な制限を強いられ、不満がたたくさんあることでしょう。今は我慢の時かもしれません。あなたの知識と行動が、あなた自身と、あなた大切な人を守ります。ワクチン接種という一筋の光まであと一歩、必ず明るい未来がくることを信じて、一緒にコロナ禍を乗り越えていきましょう。